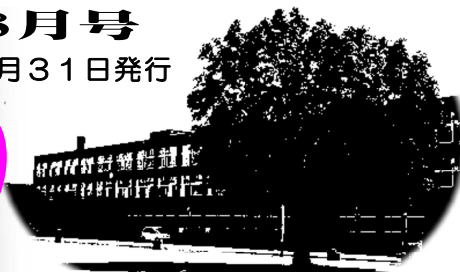




啓北だより

挑む！啓北新時代：より強くより深くより広く前へ



「挑戦」と「成長」の2学期に向けて

校長 越湖 憲治

夏休みが終わり、2学期がスタートしました。始業式では生徒たちに、「目標をもって挑戦すること」と「振り返りを次に生かすこと」の大切さについて話をしました。各学年の代表生徒の発表からは、それぞれが目標に向かって努力し、その過程で得た学びや成長が伝わってきました。一人ひとりが夏休み中の経験を糧として、新学期を迎えていることを大変うれしく思います。特に3年生の発表からは、学校生活を自分たちの手でよりよく、楽しいものにしていこうとする意識が感じられ、その姿に頼もしさと大きな成長を実感しました。

夏休み中に開催された全道中学校陸上競技大会では、本校が当番校として大会運営に携わりました。私は表彰を担当し、選手たちに賞状やメダルを手渡す機会がありました。その中で、選手一人ひとりの様々な表情を間近に見ることができ、私にとって大変貴重な経験となりました。

期待していた結果に届かず涙する選手だけでなく、好記録を出して全国大会出場の切符を手にした選手の中にも涙を流す姿がありました。その涙には、競技に向けて積み重ねてきた努力や仲間との時間、そして自分自身への挑戦が込められていたように感じます。一方で、競技後の記念撮影では、学校の枠を越えて選手同士が声を掛け合い、同じポーズで笑顔を見せる姿も見ることができました。勝敗や順位だけではない、互いを認め合い支え合う関係の中に、子どもたちが次の目標に向かって歩み出そうとする前向きな姿勢を感じるとともに、一人ひとりが成長していく瞬間に立ち会えたように思います。



私自身も、夏休み中に「1日7000歩以上歩くこと」と「5キロ走ること」を目標に掲げて取り組みました。しかし、毎日達成することはできず、思うように続けられなかった日もありました。それでも、生徒たちに目標を話していたことで、「もう少し頑張ってみよう」と自分を励ますことができました。また、夏休みが終わった今も、無理のない範囲で続けていこうという気持ちをもつことができています。挑戦は、必ずしも思い描いた結果に結び付くとは限りません。しかし、目標をもち、自分なりに努力を重ねること自体に大きな価値があることを、改めて実感した夏となりました。



2学期は80日間にわたる長い学期であり、様々な教育活動が予定されています。中でも啓北祭は、学級や学年が一つになって目標に向かい、それぞれのよさを発揮しながら、仲間と協力して創り上げていく大切な行事です。合唱や創作活動などに取り組む中では、思い通りに進まないことや意見の違いに悩むことも予想されます。しかし、そのような経験を乗り越えながら、一つの目標に向かって力を合わせる過程こそが、生徒たちを大きく成長させてくれるもの

と考えています。

保護者の皆様には、子どもたちの挑戦と成長を温かく見守り、励ましていただければ幸いです。2学期が、生徒たちにとって実り多く、一人ひとりが大きく成長する学期となることを願っています。

8月15日『終戦記念日』という日の意味

日本の平和、君がつなぐ次の未来



私たちが何気なく過ごす日常。朝起きて学校に行き、友達と笑い合うこの平穏な毎日は、決して当たり前のものではありません。

戦後81年が経ち、日本国内で直接戦争を体験した人は少なくなりました。しかし、世界に目を向ければ、今この瞬間も地球上のあちらこちらで紛争や戦争が続き、毎日のようにニュースで多くの尊い命が奪われ続けている光景が報道されています。

命は地球上の何よりも重く、二度と取り戻すことができないかけがえのないものです。だからこそ、私たちは“命の大切さ”を深く知る必要があります。

「日本は平和だから関係ない」と思っていませんか？ 平和は、何も行動せずただ待っているだけで維持できるものではありません。過去の歴史を知り、他者の痛みに関心し、「自分事」として捉えて初めて守られているのです。それでは、戦争や紛争をなくすために私たちに何ができるのでしょうか。それは、身近な人への思いやりをもち、偏見や差別、いじめをなくすこと。そして、世界で起きていることに関心をもち、声を上げることです。一人ひとりの小さな行動が大きな力となり、未来を変える第一歩になります。平和な世界をつなぐバトンは、今、君の手に託されています。



二 災害大国 ツポン！

日本は、いつどこで大きな自然災害が起きてもおかしくない「災害大国」です。夏休み期間中だけでも、記憶に新しいマグニチュード7.1を記録した熊本地震や、千葉県を襲った記録的な大雨による甚大な浸水被害等は、その脅威を改めて突きつけました。身近な地域では、十勝岳で小規模噴火が起きている。自然の猛威を完全に防ぐことはできませんが、被害を最小限に抑えることはできます。大切なのは、日頃から自然災害への心の準備をもち、避難場所や連絡方法などの備えを家族と事前にしっかり相談しておくことです。



旭川市は日本の中で、自然災害の少ない地域です。一方で、『川の街、旭川』と言われるほど、多くの川が街の中を流れています。学校のある春光地域はハザードマップで確認すると石狩川の浸水地域にあります。この夏休み中に、地域の関係者が学校に集まり、浸水被害が起きたときの対応策を検討する会議が行われました。想定外を想定しての準備です。



エアコン スイッチON！

待望のエアコンが普通教室に設置されました。旭川市では市内の小中学校74校の普通教室と職員室にエアコンを整備する計画が立てられました。令和6年度より小学校を優先し、令和8年度からは中学校で工事が始まり、令和9年度の夏までに完了する予定です。

とてもありがたいことに啓北中は市内中学校ではエアコン設置が早いほうです。設備業者と電気業者に無理をお願いし、2学期の始業式に間に合うよう、工期を2カ月ほど短縮して夏休み中に工事を進めてもらいました。朝晩はすっかりと涼しくなりましたが、暑い日は快適に過ごせるようになりました。



祝 全国中学校剣道大会出場(4回目)

8月20日～23日の日程で、山口県下関市で開催された全国中学校剣道大会に男子個人と男子団体で出場しました。男子団体は10年ぶり2回目の出場でした。



★教育実習開始★ (8月31日～9月29日)

- ◇佐々木健泰：担当教科(国語)・配属学級(1年1組)
- ◇橘井 奏翔：担当教科(理科)・配属学級(1年2組)
- ◇上遠野夏実：担当教科(英語)・配属学級(2年1組)

教育大学から3名の実習生が来ます。生徒の皆さんと一緒に学びます。

